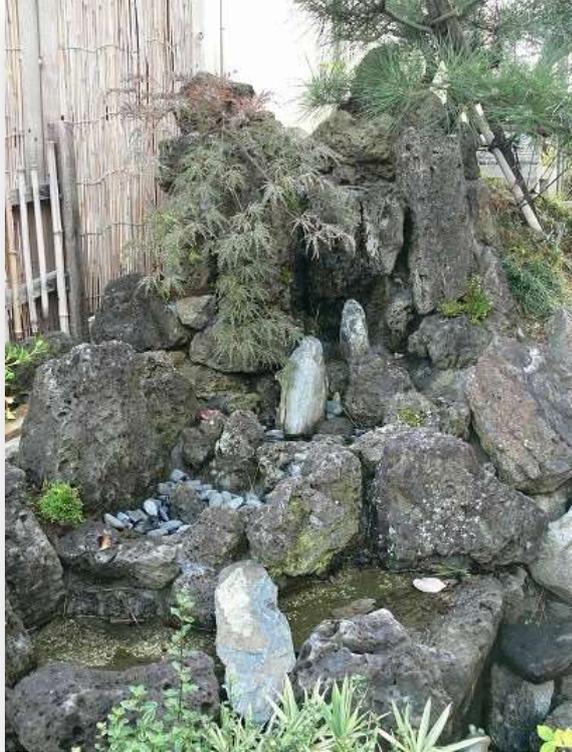


【樹木・草花の部屋】

イワヒバ (イワヒバ科イワヒバ属 Selaginella tamariscina)

和名; イワヒバ (岩檜葉) **別名**; イワマツ **英名**;
ヒカゲノカズラ植物門ミズニラ綱イワヒバ目 シダ植物 常緑多年草



← 写真-1 イワヒバ

撮影日：2013年11月7日

撮影場所：広陵町 S邸にて

撮影者：Sさん

川上村の方からイワヒバ (別名：イワマツ) をいただきました。盆栽仕立ても良いのですが、我が家には龍門の滝があります。

さっそく龍門の滝の岩肌に植えました。どこに植わっているか分かるでしょうか。

写真-2 イワヒバのアップ

⇒

撮影日：2013年11月7日

撮影場所：広陵町 S邸にて

撮影者：Sさん



写真-3 イワヒバのアップ2

⇒

撮影日：2013年11月7日

撮影場所：広陵町 S邸にて

撮影者：Sさん



【樹木・草花の部屋】

<ちょっと一言>

やや水気のある日かげのがけや岩の上などに生える常緑の多年草で、茎は多数あつまって、たがいに根を出してからみあい、長さ5~10cm、直径3~4cmの円柱形の部分をつくり、その上方に葉をつけた斜上する部分がある。斜上する部分は長さ10cmくらいに達し基から一平面に著しく分枝し、密に葉を付け、乾けば内側に葉を巻き込む。葉は4列に並び、下側の2列のものは大きく、卵形にとがり、長さ1.5~2cm。さきは糸状ののぎにおわる。

北海道・本州・四国・九州にはえ、朝鮮・台湾・中国・フィリピン・インド北部に分布する。

イワヒバは岩陰葉で、その葉の付けた枝が、ヒノキの小枝に似ているためという。

学名の *selaginella* はヒカゲカズラ属の古い名である *selago* の縮小語です。*Tamariscina* は“ギョリュウ（魚柳）*Tamarix* に似た”の意味です。

イワヒバ科は1属で700種があり世界中に広く分布します。カタヒバ、クラマゴケなどがあります。

さし芽で殖やせます。（5月頃から7月頃）

さし芽はイワヒバの殖やし方の一つです。胞子のついていない元気な葉を摘み取り、葉を裏にして土の中に少し埋めます。あまり日の当たらないところで土が乾燥しないようにして、水やりをすると葉から根が出て元気になります。裏にするのは、葉が巻いて浮き上がらないようにするためです。乾燥しないように0.5cmほどのプラスチックフィルムを被せるといいでしょう。

Sさんの龍門漠のページは、「緑友会とは」のページ 会員の作品紹介

http://www.ryokuyu.org/aisatsu/pdf/ryumonbaku_kaitei.pdf

です。イワヒバの植え込みは更新されました。ご覧ください。